

# ダイヤ改正後の問題点を検証

## 駅、車掌、運転士の見直しの要求を申し入れ 長崎地区本部

長崎地区本部は6月15日、今春のダイヤ改正後の問題点などを検証し「平成28年ダイヤ改正に伴う見直し要求について」(国労長崎申7号)の申し入れを長崎支社に行った。誠意ある交渉と書面による回答を求めた。

申7号は、「共通」10項目、「駅・誘導関係」12項目、「車掌・運転士共通」18項目、「車掌関係」17項目、「運転士関係」14項目の全71項目からなっている。

「共通」は、ICカードの拡大や利用区間の表示に関する問題、運転する基準や後乗り・前降りの周知などワンマン列車に関する問題、勤務制度の改正により座席の方向転換が減った問題、通勤手段が遮断された場合の問題、自家用車での出勤や駐車場に関する問題など。

「駅・誘導関係」では、適正な要員配置や窓口の営業時間の基本的な考え方、異常時の各駅への運行情報の連絡体制について明らかにするよう求めた。また、駅の設備に関する問題や諫早駅新駅舎建設に関して社員の意見を取り入れるよう求めた。

「車掌・運転士共通」は、ストレスチェックや安全意識アンケート、高齢者行路、休憩時間、列車の運行に関する問題、乗務員宿泊所や乗り継ぎ詰所、休憩室の改善に関する問題など。



【解体工事が進む旧諫早駅舎、現在仮駅舎で営業】

「車掌関係」は、再度乗務、前泊、拘束時間、変行路、準備時間に関する問題、ホームのかさ上げやハトの糞対策など。また、勤務制度が改正されたが「働きやすさの向上」の趣旨に沿っていない行路の改善も求めた。

「運転士関係」は、前泊仕業や高齢者に対する作業量、DC仕業の睡眠時間の見直し、ホームの安全上の問題、ワンマン列車の運賃表示や空調制御、自動放送、ドア扱いに関する問題、気動車の保安装置の設置に関する問題などとなっている。

## 原水禁関係、各自1回以上の動員参加を。

7月28日の大会資料の封筒詰め作業から始まる一連の被爆71周年原水禁長崎大会関係動員や平和行進への参加をお願いします。

## 国鉄原爆死没者慰霊式 8月9日

懇親会まで参加できる方は、掲示物の捺印覧にサインか捺印をお願いします。